

梅苑図書館ニュース 第137号

福島高校梅苑図書館 令和元年度7月発行

5月の焼けるような暑さも落ち着き、雨音の静かな旋律が響く季節になりました。

1年生の皆さんは高校生活に慣れはじめてきた頃でしょうか。2年生は部活や課題研究、3年生は本格的に開始した受験勉強。忙しい日々が続き、自分に課せられた課題に重圧を感じてしまう時があるのではないのでしょうか。

そんなときの気分転換に最適なのが、**読書**です。本は、各本が織りなす豊かな世界を堪能できる素晴らしいものなのです。

裏面にはおすすめの新着図書も記載しておりますので、ぜひ本選びの参考にして下さいね。

今年も梅苑図書館では本の長期貸出を行います。普段あまり本を読まないという方もぜひこの機会に読書をしてみませんか。

夏休み 長期貸出

貸出期間：7月3日（水）～ 8月19日（月）

貸出冊数： 冊数無制限

返却日：8月19日（月）厳守

◎夏休み明けに読書アンケートを実施します。ご協力ください。

最後に、夏休みにはビブリオバトルが各地であります。参加者ではなく観戦者としてでも参加することができます。申し込みをしなくても参加できるものもありますので、ぜひ参加してみてください。

図書委員会作成

新着図書の中からは

『ビッグ・クエスチョン 〈人類の難問〉に答えよう』

スティーヴン・ホーキング／著 NHK出版 (404/H)

運動ニューロン疾患を患いながら研究を続け、昨年お亡くなりになられた、ブラックホールの研究で世界的に有名な理論物理学者ホーキング博士の、人類の究極の問いに対する答え。

「神は存在するのか」「宇宙はどのように始まったのか」「人工知能は人間より賢くなるのか」。ビッグ・クエスチョンを探求することの興奮と情熱を伝えたいと博士は言います。最終章の問いは、「より良い未来のために何ができるのか?」。若者へのメッセージも含まれています。

『幸福とは何か ソクラテスからアラン、ラッセルまで』 長谷川宏／著 中公新書 (151/H)

『幸福とは何か 思考実験で学ぶ倫理学入門』 森村進／著 ちくまプリマー新書 (151/M)

長谷川氏は、「幸福とは何か」という問いを持って三つの時代の西洋哲学を見渡します。

森村氏は、イギリスの哲学者デレク・パーフィットが分類した「快樂説」「欲求実現説」「客観的リスト説」に従ってそれぞれを検討し、さらに「折衷説」、そして、「時間」という尺度から見た諸説も検討していきます。巻末には文献案内も付いています。

『トリック』 エマヌエル・ベルクマン／著 新潮社 (943/B)

ある時、実の父と一緒に観たサーカスに魅せられ奇術師を目指す少年モシエ。また先の時代を生きている少年マックスは、離婚しようとしている両親を何とかとめられないか、見つけた古いレコードのなかの奇術師による愛の魔法に望みをかけ、奇術師を探す。老人となった奇術師モシエと少年マックスが出会い……。

● 新着図書の中からは、おすすめの一部を紹介しました。

新鮮な気持ちになれそうな本はありましたか。課題研究の役に立つ本もありましたか。別紙「図書委員のおすすめBOOK」「新着図書一覧」「所蔵雑誌特集一覧」も併せてご覧いただけたらと思います。

また、岩波書店・新潮社・集英社から頂いた小冊子も配付しました。

それぞれに目を通し、気になった本は、ぜひ夏季休業中に読んでください。

*新着図書にかかっているビニールのカバーは、図書部員たちが一冊一冊丁寧にかけてくれました。

*夏季休業中の休館日・開館時間は下記のとおりです。

【休館日】8/1、8/6~18

【開館時間】8:15~16:30 ※7月29、31日は15:00閉館

(裏面 司書)